

農山漁村でゆとりとやすらぎを、そして新たな体験をしてみよう。 日本の田舎は元気です。

「第13回オーライ！ニッポン大賞」表彰式行われる



オーライ！ニッポン大賞グランプリ(内閣総理大臣賞)

夢の音村「森の公民館」(サウンドファイブ夢の音会)
(島根県浜田市)

サウンドファイブ夢の音会は、島根県立浜田高校の同級生5人の音楽活動が原点。1968年以来47年間で150回以上のステージ活動や、約40回の優れた舞台文化招致など、音楽・文化を柱にした手作りの地域づくり活動を展開。広島市内のライブハウスとの協力協定、東京都内の飲食店との食の研究や誘客・情報発信の協力協定など幅広い交流も。

町の人たちから“ドラムすこ”と呼ばれる創立メンバーでドラマーの河野文影さん(64)は「遊び心で活動してきたので苦しいと感じたことはない。活動の積み重ねを地元を理解してもらい、昔は『地図に無い村』だったのが『カーナビに載る村』になった。今後は民泊施設や農家レストランなどを整備して、都会人が回遊できる仕組みをつくりたい」と話した。



サウンドファイブのライブ



河野文影さん

「第13回オーライ！ニッポン大賞」の表彰式が4日、加藤農林水産大臣政務官の出席のもと東京の帝国ホテルで開催され、応募総数188件から島根県浜田市の「夢の音村(ゆめのねむら)』『森の公民館』(サウンドファイブ夢の音会(ゆめのねかい))」がグランプリ(内閣総理大臣賞)に輝いたほか、12団体3人が各賞を受賞。表彰式に参加した約140人は、受賞者の活動報告やオーライ！ニッポン会議代表の養老孟司氏の基調講演などに聴き入っていた。

オーライ！ニッポン大賞

仙北市農山村体験推進協議会(秋田県仙北市)

農家民宿への受け入れを中心に各種のイベントを開催。近年は外国人旅行者も積極的に受け入れ、東北屈指のグリーン・ツーリズム先進地となっている。

株式会社エマリコくにたち(東京都国立市)

民設民営の都市型直売所として都市生活者に地場野菜の魅力を伝えるとともに、高齢農業者に便利でやりがいある販路を提供。エマリコとは「縁を作り、街を育て、利を生み、社会に貢献する」を意味する造語。

NPO法人夢未来くんま(静岡県浜松市)

手打ちそばなどを提供する「かあさんの店」やデイサービスと併当配達の高齢者向けサービス、地場産茶のブランド化などで地域住民の生きがいと郷土意識を醸成している。

オーライ！ニッポン大賞 審査委員長賞

八戸市青葉湖展望交流施設 山の楽校(がっこう)運営協議会(青森県八戸市)

島田建設株式会社(千葉県成田市)

木滑(きなめり)里山保全プロジェクト(石川県白山市)

かみかわ田舎暮らし推進協会(兵庫県神河町)

(株)農業公園 信貴山(しぎさん)のどか村(奈良県三郷町)

オーライ！ニッポン フレンドシップ大賞

公益社団法人sweet treat 311(宮城県石巻市)

東日本大震災で被災した子供のケアと学習機会提供のため、震災後間もなく活動開始。石巻市雄勝町を拠点に、漁業体験など地域資源を活用した学びの場を創造し、地域住民と協働運営している。築92年の廃校を活用し昨夏オープンした体験宿泊施設モリウミナス(森と海と明日へ)は、子供たちの好奇心と探究心を刺激する複合施設となっている。

オーライ！ニッポン フレンドシップ賞

庄原市高野地域づくり未来塾(広島県庄原市)

倉敷まちなか居住『くるま座』有鄰庵(ゆうりんあん)(岡山県倉敷市)

公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター(熊本県阿蘇市)

オーライ！ニッポン ライフスタイル賞

山野 晃弘(千葉県木更津市)

馬場 未織(東京都世田谷区)

伊藤 弘晃(福井県福井市)

「オーライ！ニッポン大賞」の詳細はWEBへ

<http://www.kouryu.or.jp/service/ohrai.html>

基調講演(要旨)

田舎へ行って幸せに



オーライ！ニッポン
会議代表
養老孟司さん

年に2、3カ月は田舎へ行ったらどうですか、
と言い始めてからだいふたつ。気温が変わらず、
風は無く、床が平らな都会のビルの中に居ると、
刺激を受けないから感覚がどんどん鈍らされ、頭
の中だけの「おとぎ話」の世界に生きていること
になる。

東京都民はほぼ100%が病院で生まれ、約92%
が病院で亡くなる。だから、都民は“仮退院の患者”
なのに、自分が病人だと思っていない。そんな暮ら
しをおかしいと思わないほうがおかしい。

感覚を固定された状況が当然だという思い込
みを壊してくれるのは自然だ。田舎で暮らす良さは
理屈ではなく、感覚を働かせて体を動かすこと。
都会の人たちが健康で幸せになりたいなら、
田舎へ行こう。

講評(要旨)

受賞者の皆さんは新文明のリーダー



オーライ！ニッポン大賞
審査委員長
安田喜恵さん

188件と多数のご応募をいただいたが、今日お越
しの皆さんを選んで良かった。

戦後70年、日本人は欧米文明の追従ばかりして
きた。確かに豊かな暮らしは手に入れた。しかし、
森を破壊する物質エネルギー文明はもう終わり。
心身は育った風土、自然に影響される。それを無視
しては、人間は生きる力を得られない。生きる力は
豊かな自然の中から。もう一度田舎へ帰ろう。

活動報告を聞いていて、大事なのはリーダー
と、支える仲間の力だと思った。双方を備え、地域
ごとに生態系を維持し、特色ある歴史文化を築い
ているのは先進国で日本だけ。21世紀の新文明
の時代を担うリーダーは受賞者の皆さんだ。



オーライ！ニッポン会議副代表で語り部の平野啓子さんが
受賞をお祝いして竹取物語の語りを披露した

主催：オーライ！ニッポン会議(都市と農山漁村の共生・対流推進会議)、農林水産省

協賛：一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう)



オーライ！ニッポンとは？・・・都市と農山漁村の往来を盛んにして日本を元気(All right)にする国民運動。都市と農山漁村の共生・対流を推進する
優秀な活性化事例を表彰する。「共生」は都市と農山漁村が共に支え合う様を、「対流」は相互の交流が絶え間なく繰り返される様を表現している。

広告